

2019県民アンケート調査

～県民生活や県の取組みに関する意識調査～

～ 県民アンケート調査へのご協力をお願い ～

県民の皆様には、日頃から、県政の推進にご理解、ご協力をいただき心からお礼を申し上げます。

熊本県では、県政に県民の皆様のご意見を反映させていただくため、毎年、県民アンケート調査を実施しています。

この調査は、日常生活や社会・生活環境、県の取組み等について、日頃、皆様を感じていることや、行っていることをお尋ねし、県の施策に活かしていくものです。

調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内にお住まいの20歳以上の方々の中から、1,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

よりよい熊本づくりに向け、皆様の率直なご意見をよろしくお願いいたします。



©2010 熊本県くまモン

令和元年（2019年）6月

熊本県知事 蒲島 郁夫

調査票へのご記入にあたって

- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人**でお願いします。
（ご本人での記入が困難な場合は、代筆でもかまいません。）
- 回答は、黒の鉛筆又はボールペンなどで、**この調査票に直接記入**してください。
- 内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。
（回答していないところがあっても、そのまま返送してください。）
- 記入が終わったら、**同封の返信用封筒に入れ**、切手を貼らずに **令和元年（2019年）6月19日（水）までに** 郵便ポストに投函してください。
- 回答いただいた内容は、無記名のまま集計・分析するため、個人が特定されることはありません。

■ お問い合わせ先

熊本県企画振興部企画課 政策班 担当：橋田（はしだ）、菅野（すがの）

電話 096-333-2018（直通）

ファックス 096-382-4066

電子メール kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

防災・治安について

問1 あなたは、お住まいの地域の中で、市町村が定めている災害時の避難場所がどこにあるか知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問2 あなたは、ご自身やご家族を災害から守るために、何をしていますか。
(あてはまるもの全てに○ ※14以外は複数選択可)

1. 住宅の耐震化
2. 家具等の固定
3. 水・食料等の備蓄
4. 非常用持出品の準備
5. 風呂に水をためる
6. 地域の危険箇所やハザードマップ(災害等発生時の危険箇所)の確認
7. 指定避難場所、経路の確認
8. 家族との連絡方法の確認
9. 自主防災組織などが行う訓練への参加
10. 県・市町村等のホームページ等での気象情報などの収集
11. 自治体の防災メールの登録
12. 早めの自主避難(予防的避難)
13. その他()
14. 何もしていない

問3 あなたは、これまで自治会の中の防災活動など、自主防災組織が行う防災訓練などに参加したことがありますか。(1つだけ○)

1. 自主防災組織の活動に参加したことがある
2. 自主防災組織はあるが、活動に参加したことはない
3. 自主防災組織がない
4. 自主防災組織があるのか知らない

問4 防災に関する知識で、今後、県が普及・啓発に力を入れる必要があると思うものはどれですか。(あてはまるもの全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. 避難所や避難経路に関する情報
2. 個人でできる災害に対する備え(自助)
3. 近隣の安否確認や、避難誘導など地域でできる取組み(共助)
4. 災害時の情報収集方法
5. 災害時の注意点
6. 避難生活で気を付けること
7. 災害ボランティアの支援要請や参加方法
8. ハザードマップの情報
9. 地震に関する情報(断層の場所や発生確率等)
10. 防災士(防災に関する知識を有し、災害時等に活動する民間資格者)の資格取得に関する情報
11. その他()
12. 特にない

問5 あなたは、ご自宅の地震に対する安全性の確保(耐震化)を行っていますか。(1つだけ○)

○ご自宅が自己または家族所有の方

1. 建築もしくは購入当初から耐震性がある
2. 耐震化工事を実施済み(工事中又は工事予定を含む)
3. 耐震診断を行って、必要ならば、耐震化工事を行いたい

} 問7にお進みください

4. 耐震診断を行うが、耐震工事を実施するかどうか分からない
5. 耐震性はない、もしくはあるか分からないが、耐震診断、工事とも現在のところ行う予定はない

} 問6にお進みください

○ご自宅が自己または家族所有ではない方

→ そのまま
問7にお進みください

※この質問は、問5で、選択肢4・5のいずれかを選択された方のみにお尋ねします。

問6 ご自宅の耐震化工事を行うかどうか分からない、もしくは行わない理由を教えてください。(あてはまるもの全てに○)

1. 耐震化のために何から始めたらよいか分からないため
2. どのような業者に耐震診断、耐震化工事を頼んでよいか分からないため
3. 建替え予定のため
4. 耐震化工事を行う費用がないため
5. 自宅を長く活用する予定がないため
6. 現在耐震化について検討していないため
7. その他 ()

救急医療について

問7 あなたは、お住まいの地域における救急医療体制についてどのように思いますか。(1つだけ○)

1. 整っていると思う
2. どちらかといえば、整っていると思う
3. どちらかといえば、整っていないと思う
4. 整っていないと思う
5. わからない

※整っていると思うか、思わないかについては、以下の視点等からご回答ください。

- ・ 休日や夜間に対応している医療機関が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 重篤な救急患者を受け入れる病院が多いと感じるか、少ないと感じるか。
- ・ 最寄りの医療機関まで遠いと感じるか、近いと感じるか。

高齢者の福祉・介護について

問 8 あなたは、いつまでも生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するために、何が足りないと思いますか。(2つ以内で○)

1. 高齢者の就労支援
2. 健康づくりや介護予防
3. 見守りや家事などの日常的な生活支援
4. 認知症になっても安心して暮らせるための施策
5. 高齢者の権利擁護（成年後見制度の利用促進、虐待防止等）
6. 在宅で医療や介護サービスを受けるための体制づくり
7. 介護保険施設等の整備
8. 高齢者向け住まいの供給促進
9. 介護に従事する人の確保や介護サービスの質の確保・向上
10. その他（)

地域福祉について

問 9 あなたの住んでいる地域で、生活の中でちょっとした困りごとに対応するサービスや支え合い活動として、利用できればよいと思うものは次のうち何ですか。(2つ以内で○)

1. 買い物支援（移動販売・買い物代行など）
2. 移動支援（乗り合いタクシー・福祉タクシーなど）
3. 家事援助（食事の支度、清掃、庭の草取りなど）
4. 生活支援（電球交換、家電据え付けなど）
5. 子育て支援（一時預かり、妊娠中や出産後の家事援助など）
6. 相談・話し相手
7. その他（)

障がい者施策について

問 10 熊本県では、「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」により、障がいの有無にかかわらず、安心して暮らすことができる共生社会の実現を目指しています。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは聞いたことがある
3. 全く知らない

結婚・少子化について

問11 現在、我が国では少子化が進んでいますが、その原因の一つとして、結婚していない人の割合が増加していることが指摘されています。

あなたは、結婚を希望している人が結婚できるように、職場や地域、行政などみんなで応援している社会環境にあると感じますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

妊娠・出産について

問12 あなたは、県民が安心して妊娠・出産ができる環境にあると感じますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

子育て・家庭教育について

問13 「くまもと家庭教育支援条例」に基づき、「親の学び」講座の開催や、「くまもと家庭教育10か条」、「くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条」の周知、チラシの配布等に取り組んでいます。あなたは、この条例を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名称は知っている、もしくは、聞いたことがある
3. 全く知らない

問14 あなたは、お住まいの地域の子どもたち（高校生以下とします）が、未来への夢を持ち、自ら進んでよく学び、よく遊び、様々な人とふれあい、様々な体験をするなど、心豊かに育っていると思いますか。（1つだけ○）

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

※この質問は、現在、中学生以下のお子様がいいらっしゃる方のみにお尋ねします。

問15 あなたは、子育てが楽しいと感じることが多いですか、それとも辛（つら）いと感じることが多いですか。（1つだけ○）

1. 楽しいと感じることが多い
2. どちらかといえば、楽しいと感じることが多い
3. 楽しいと感じることと、辛いと感じることが同じくらいある
4. 辛いと感じることが多い
5. わからない

健康について

問16 あなたは、平成30年度（2018年度）に1回に30分以上運動やスポーツを実施した日数を全部あわせると、何日くらいになりますか。（1つだけ○）

1. 週に5日以上（年251日以上）
2. 週に3日以上（年151日～250日）
3. 週に2日以上（年101日～150日）
4. 週に1日以上（年51日～100日）
5. 月に1日～3日（年12日～50日）
6. 3か月に1日～2日（年4日～11日）
7. 年に1日～3日
8. 平成30年度（2018年度）に運動やスポーツはしなかった
9. わからない

※通勤等で片道15分（往復30分）以上の徒歩や自転車等のように、連続的・断続的にかかわらず意識的に体を動かしている場合も、運動を行っていると考えてください。ただし、学校の体育授業や職業として行ったものは含みません。

問17 あなたは、食育の考え方や内容を理解し、日常生活の中に活かしていますか。
(1つだけ○)

※食育とは「食に関する知識や技術を身につけること」です。

1. 内容を理解し、十分活かしている
2. 内容を理解し、ある程度活かしている
3. 内容は理解しているが、あまり活かしていない
4. 内容は理解しているが、ほとんど活かしていない
5. 言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない
6. 全く知らない

人権・男女共同参画について

問18 あなたは、ハンセン病が感染しにくい病気だということを知っていますか。
(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問19 あなたは、ご自身のお気持ちの中に、ハンセン病の患者さんや治癒された方に対する偏見や差別意識があると感じますか。(1つだけ○)

1. ある
2. 少しある
3. ない
4. わからない

問20 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって職場や家庭、地域での役割を固定しようとする考え方についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. 同感する
2. どちらかといえば、同感する
3. どちらかといえば、同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問 2 1 あなたは、人権意識を高めるためには、どのような広報啓発活動が効果的だと思いますか。(あてはまるものを全てに○ ※12以外は複数選択可)

1. テレビ、ラジオ
2. 講演会、シンポジウム、研修会等
3. 新聞、雑誌
4. 広報誌、パンフレット、ポスター
5. 映画、ビデオ
6. インターネット、Eメール（メールマガジン等）
7. 自由な意見交換ができる会合や交流会
8. ワークショップ（参加者による少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム等）
9. 展示会（資料、写真等）
10. プロスポーツ組織と連携した啓発活動
11. その他()
12. わからない

地下水について

問 2 2 あなたは、水田でのお米づくりや化学肥料を減らすことで、地下水や土を育てていることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている 2. 少し知っている 3. 知らない

問 2 3 あなたは、「くまもとグリーン農業」を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている 2. 少し知っている 3. 知らない

食の安全安心・農林水産物等について

問 2 4 あなたは、現在、販売されている農林水産物（生鮮食品）や加工食品に不安を感じますか。(1つだけ○)

1. 全く不安はない
2. あまり不安はない
3. ある程度不安がある
4. とても不安がある
5. わからない

問29 国連で一人あたりの食品廃棄物を半減させるという目標が設定されたなか、日本では食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食品）が年間推計 646 万トン（事業系 357 万トン、家庭系 289 万トン）発生しています。
あなたがより効果的と考える対策はどれですか。（あてはまるもの全てに○）

（企業における取組み）

1. 賞味期限間近など販売できない食品をフードバンク※へ提供
2. 消費期限及び賞味期限が間近な食品の値下げ販売
3. 食品廃棄物のリサイクル（堆肥化、飼料化など）
4. 正確に食品の需要量を予測する取組み
5. 小盛り、おかわり自由など提供量の調整
6. その他（)

（家庭等における取組み）

1. 「買い物前の冷蔵庫確認」など買いすぎを控える
2. 余っている食品をフードバンクなどに提供する
3. 生ごみを水切りや生ごみ処理機で減量する
4. 保育所、小学校、中学校での環境教育
5. その他（)

※フードバンクとは、食べられる様々な食品を企業などから集め、地域の福祉団体や個人に届ける活動を行う組織のこと。

教育について

問30 あなたは、熊本の将来を担うグローバルな人材（国際化社会で活躍できる人材）を育成するために、何が重要だと思えますか。（3つ以内で○）

1. 学校における英語教育の充実
2. 主体性・積極性を促す教育の充実
3. 郷土を誇りに思い、郷土の文化や歴史を深く知る教育の充実
4. 異文化理解を深める教育の充実
5. 海外留学支援制度などの情報提供
6. 海外大学進学や留学に対する学校での進路指導の充実
7. 海外大学進学や留学費用に対する助成
8. 海外からの留學生の積極的な受入れ
9. 海外の学校との交流活動の促進
10. グローバルな視野を拓けるための講演会やセミナーの開催
11. その他（)

歴史・文化について

問3 1 あなたは、本県の歴史・文化を学ぶ機会や文化・芸術活動の活性化のために、何が必要だと思いますか。(3つ以内で○)

1. くまもと文学・歴史館や県立美術館、県立装飾古墳館などにおける展示・企画の充実
2. 熊本県立劇場の文化事業の充実
3. 県内芸術文化団体活動への支援
4. 若手芸術家への支援や次世代の文化の担い手の育成
5. 加藤・細川を始めとする本県の歴史と文化の県内外への発信
6. 「熊本県総合博物館ネットワーク※」の推進
7. 世界文化遺産登録の推進
8. 地域の伝統文化に触れ、体験・発表する機会の充実
9. 古くから熊本の農業を支える農業土木施設の保存
10. その他()

※「熊本県総合博物館ネットワーク」とは、県民の方々がどこに住んでいても身近な地域の自然や歴史を知る博物館活動に参加できるよう、県内博物館が相互に連携し、県内全域における活動の活性化を図るもの。

動物愛護について

問3 2 あなたは、県の保健所や、県内の動物愛護センターから犬や猫を譲り受けることができることを知っていますか。

また、飼い犬・猫が迷子になった時、お住まいの地域の保健所や警察署に連絡(届出)することで、保護されているかを確認できることを知っていますか。

(譲り受けについて)

1. 知っている
2. 知らない

(保健所等への連絡(届出)について)

1. 知っている
2. 知らない

国際スポーツ大会について

問33 今年、女子ハンドボール世界選手権、ラグビーワールドカップ等の国際スポーツ大会が熊本で開催されます。

これらの大会に、あなたはどのような形で関わりたいと思いますか。

(あてはまるもの全てに○ ※7以外は複数選択可)

1. 大会ボランティアとして関わりたい
2. 世界中から訪れる選手と交流したい
3. 世界中から訪れる観客と交流したい
4. 試合を観戦に行きたい
5. その他、()で関わりたい
6. 関わりたいが、具体的な関わり方がわからない
7. 特に関わりたいと思わない

自転車保険について

問34 あなたは、自転車保険（自転車事故により相手の生命又は身体に損害を与えた場合に補償できる賠償責任保険）に加入していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 自転車を持っており、自転車単体の保険に加入している
2. 自転車を持っており、自動車保険や火災保険、傷害保険等の特約で、自転車事故も保険対象としている
3. 自転車を持っているが、保険に加入していない
4. 自転車を持っていない
5. その他 ()

NPO 法人について

問35 熊本地震において被災者及び被災地の復旧・復興支援活動に多くのNPO法人が参加しました。このように、NPO法人は地域の問題解決に貢献しています。NPO法人の活動についてお尋ねします。

(NPO法人の活動について)

1. 知っている
2. 知らない

(NPO法人の活動への参加について)

1. 活動に参加したことがある
2. 活動に参加したことがない

空港アクセスについて

問36 あなたは、阿蘇くまもと空港から県民総合運動公園を經由して、JR豊肥本線三里木駅へ接続するアクセス鉄道を検討していることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問37 あなたは、空港アクセス鉄道の新設により、空港～熊本市内のアクセスの現状※が改善されると思いますか。(1つだけ○)

※朝夕の渋滞時に予定の時間どおりに着かない、リムジンバスに乗れない等

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問38 あなたは、空港アクセス鉄道が県民総合運動公園へのアクセス向上や空港と鉄道の接続による県内一円の交通ネットワークの充実などにより、将来の熊本の発展につながると思いますか。(1つだけ○)

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない
5. わからない

基本項目

あなたご自身のことについてお尋ねします。

1 あなたの住まいはどちらですか。あてはまる市町村の番号に○をつけてください。

熊本市	1. 熊本市中央区 2. 熊本市東区 3. 熊本市西区 4. 熊本市南区 5. 熊本市北区	菊池	16. 菊池市 17. 合志市 18. 大津町 19. 菊陽町	八代	32. 八代市 33. 氷川町
宇城	6. 宇土市 7. 宇城市 8. 美里町	阿蘇	20. 阿蘇市 21. 南小国町 22. 小国町 23. 産山村 24. 高森町 25. 南阿蘇村 26. 西原村	芦北	34. 水俣市 35. 芦北町 36. 津奈木町
玉名	9. 荒尾市 10. 玉名市 11. 玉東町 12. 和水町 13. 南関町 14. 長洲町			球磨	37. 人吉市 38. 錦町 39. あさぎり町 40. 多良木町 41. 湯前町 42. 水上村 43. 相良村 44. 五木村 45. 山江村 46. 球磨村
鹿本	15. 山鹿市	上益城	27. 御船町 28. 嘉島町 29. 益城町 30. 甲佐町 31. 山都町	天草	47. 天草市 48. 上天草市 49. 苓北町

2 あなたは、熊本県に通算何年くらいお住まいですか。次のうちあてはまるものに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年～10年未満 | 7. 20年～30年 |
| 2. 1年～ 3年未満 | 5. 10年～15年未満 | 8. 30年以上 |
| 3. 3年～ 5年未満 | 6. 15年～20年未満 | |

3 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

4 あなたの年齢は次のどれですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

ご協力ありがとうございました